

スマホ依存を防げ！

近年、スマートフォン等の普及に伴い、育児での活用や、スマホ所持の低年齢化が進んでいる。ただ**便利な反面**、スマホ依存の危険性を有している。そこで市の認識と対応を質疑した。

スマホ育児のデメリット

教育委員会の認識するスマホ育児のデメリットは次の通り。

- ①長時間の使用で視力低下や姿勢の悪化
- ②悪質なコンテンツに入ってしまう。
- ③将来的な**スマホ依存症に繋がる**可能性がある。
- ④WHOはスマホ等の使用は1歳児には推奨されない。



過度な使用は要注意！

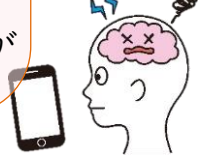
子どものスマホ依存対策

まずは知ることが大切

スマホ使用のデメリット

教育委員会はスマホの長時間使用でのデメリットを次のように挙げている。

- ①長時間使用で、相対的に**学習や睡眠に充てる時間が短くなる**。
- ②ブルーライトを浴びることによる睡眠の質の低下は、**学習や健康に悪影響**を及ぼす。
- ③**社会性やコミュニケーション能力の発達に影響**する。
- ④SNSトラブル、いじめにつながる可能性が懸念される。



生きる力の育成に悪影響

学校で使用されるタブレット端末のデメリットは次のよう挙げている。

- ①活用方法によっては、**想像力や思考力を十分に**つけることができない事が懸念される。
- ②デジタル教材のみに頼る事や、手書きの回数が減るなどにより、**学習内容の定着に影響**を及ぼす可能性がある。

タブレット端末も要注意！

謹賀新年



令和7年の摂津のまちづくり

摂津市議会での活動報告

討議資料



プロフィール
摂津市議会議員

松本 暁彦

●昭和58年生まれ ●関西大倉高校卒業 ●香川大学農学部卒業 ●陸上自衛隊(退職時1等陸尉) ●東日本大震災・PKO(ハイチ)で派遣活動に従事 ●前衆議院議員とかしきなおみ事務所元秘書 ●MBA(関西学院大学経営戦略研究科卒業) ●消防団 ●予備自衛官 ●座右の銘「時かぬ種は生えぬ」



謹賀新年



(退任時に水谷議長と)

昨年、副議長の役を終えました。

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、副議長として約1年間、議会運営を水谷議長(当時)と共に取り組んで参りました。そして昨年11月に無事に副議長を退任致しました。

また一議員として引き続き市民の為に良いまちづくりに推進して参ります。



子ども達のスマホ依存対策を議会で提言

- ①スマホ育児でのデメリットの啓発を行う事。
- ②児童・生徒にスマホ依存対策のルール作りなどを考えさせること。
- ③学校のタブレット端末使用におけるガイドラインの策定

スマホ脳と云われるように、長時間使用は依存症に繋がる可能性が懸念されています。学力への影響も甚かりです。私は議会にて、**スマホ依存対策**を、上記のように提言しました。

教育長は子ども達のスマホに関する問題は大人の問題であり、**大人が見本となつて行動**することの重要性を答弁しました。

1 PFOAに関する研究等の進捗について

2 新型コロナウイルス健康被害者に寄り添った対応について

3 鶴野中央公園とは？環境センターの跡地活用

4 台風時でのゴミ収集中止基準

5 中学校の部活動等における全国大会補助について

6 スマホ依存を防げ！

子どものスマホ依存対策

まずは知る事が大切

松本あきひこ 通信Vol.13



令和7年 1月発行

連絡先 摂津市三島 1-1-1 摂津市役所新館3F
自民党・市民の会控室 TEL 06-6349-2515

地域を守り、未来を育む！

子ども達の笑顔絶えない街へ 令和7年の摂津のまちづくりに向けて

この資料は摂津市議会等での活動をまとめたものです。

令和6年第4回摂津市議会定例会で一般質問を行いました。

昨年の11月に副議長を下番してすぐの令和6年第4回定例会(令和6年12月2日~20日)にて、約1年ぶりに一般質問を行いました。

未来へ向け、様々な課題に対し市の対応を問い、また様々な提言を行いました。その要約をご報告します。

1 PFOAに関する研究等の進捗について

昨年の12月にNHKで取り上げられる等、PFOAは本市において大きな問題となっております。国の研究や対策が進んでいる中、健康への影響などを質疑しました。

質問

岡山県吉備中央町では、飲用水において、PFOASが暫定目標値を大きく上回る数値が検出され、**健康不安の声**が上がっていること認識している。その**健康影響**は国等で議論しているのか？

市答弁

環境省の資料によると、岡山大学大学院が実施した健康影響に関する評価結果では、特定健康診査、後期高齢者等健康診査及び低出生体重・早産についてのデータを分析し、全項目とも**PFOAS及びPFOA**のばく露を要因として、対象地区において**有病割合が増加している傾向は観察**されていない。

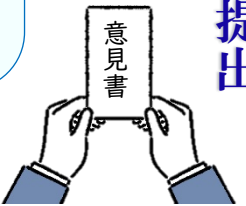
PFOA対策

健康への影響は観察されていない状況である。

2 新型コロナウイルスワクチン健康被害者に寄り添った対応について懸念!

国に対して摂津市議会から意見書を提出

私が作成した「新型コロナウイルスワクチンに関する安全性の再検証並びに健康被害者に寄り添った対応の強化を求める意見書」が、議会において全員賛成で可決され、国へ提出されました。その内容は次の通りです。



新型コロナウイルスに関する安全性の検証並びに健康被害者に寄り添った対応の強化を求める意見書

(略) **新型コロナウイルス接種の健康被害**に関して、令和3年2月の接種開始から、令和6年12月2日現在までに、健康被害救済制度への進達受理件数は12,480件となり、そのうち認定が8,501件、否認2,689件、保留19件で、**死亡認定は900件を超え**(略)これに対してインフルエンザやMMR、BCGといった新型コロナウイルス以外のワクチンでの健康被害は、現行の予防健康被害救済制度が始まった1977年2月から2021年末までに認定3,522件(死亡認定151件)であり、**新型コロナウイルスは3年強で他ワクチンの44年分の健康被害認定を大幅に超えている**状況がある。(略)

よって、**本市議会**は**政府及び国会**に対し、国民の懸念解消及び健康被害者に寄り添うよう、下記の措置を講じるよう要望する。

- 記
- 1 新型コロナウイルスの**安全性の再検証**並びに**長期的な安全性の検証**を行うこと。
- 2 安全性の検証結果に応じて、接種要領を再検討すること。
- 3 検証結果を踏まえ、**予防健康被害救済制度で慎重かつ丁寧な審査**を行うこと。
- 4 予防健康被害救済制度における審査体制を強化し、審査を迅速に行うこと。

高まるコロナワクチンの安全性への懸念

国は健康被害者が増え続けているにも係わらず、接種を継続。地方から懸念の声を上げていく必要がある!

一般質問では、新型コロナウイルスワクチンの健康被害者が増えている現状を踏まえ、市に対して健康被害者に寄り添った対応を求めました。

質問 新型コロナウイルスの**健康被害者**はどのようなものか?

市答弁 (全国は上記意見書に記載)
摂津市の進達件数は重複含め9件、認定1件、否認5件、結果待ち3件である。(令和6年12月時点)

質問 新型コロナウイルスの**リスク**を市はどう評価しているか?

市答弁 新型コロナウイルスの**健康被害者は他のワクチンに比べて多いと認識**している。一方で国は特段の懸念は無いと言っている。

質問 今年度からの**定期接種の委託料の一部**を市が負担しているが、接種を推奨しているのか?

市答弁 接種を希望する市民が**経済的な問題**を理由に接種できないという事がないようにするため、**接種は推奨していない**。

質問 **健康被害に遭われた方に寄り添った対応**が必要である。そこで、救済制度申請の円滑化や経済面などの支援を行うべきだが、どうか?

市答弁 専門職の保健師による対応を通じて**手厚くサポートを実施**している。また必要な方に必要な情報が届くように広報紙などを活用し、しっかりと**周知**していく。助成制度の創設は難しいが、今後、**大阪府や国**に対して経済的支援の検討や手続きの簡素化、迅速化等について要望する。

健康被害者への迅速な救済が必須!

専門家は現状の健康被害認定数を**氷山の一角**と指摘している。副反応と疑問に思ったなら、まずはかかりつけ医又は市の保健福祉課に相談ください。



鶴野中央公園とは?

3 環境センターの跡地活用

鶴野地域での**公共施設再編**で、環境センターは解体され、その跡地に**鶴野中央公園(都市計画)**が整備される予定です。ただ、環境センターは**土壌汚染が確認**されており、その対応と公園内容がどのようなものか不明であるため、**質疑**しました。

質問 環境センター跡地は**土壌汚染**があり、**モニタリング**が大切と思うが、市はどう考えているのか?

市答弁 環境センターの解体工事に合わせ、**土壌汚染対策**として汚染区画の舗装を行う。その上で公園整備時に**1.5m以上の盛土**を行い、**二重の封じ込め**を行い、安全に公園として利用できる。また**定期的なモニタリング**も検討する。

質問 環境センター跡地に鶴野中央公園が都市計画決定された。この新たに整備する公園の持つポテンシャルについてどう捉えているのか?

市答弁 公園は**明和池公園と同等の広場**が整備できる面積は確保できるものと考えている。遊びや運動といった日常利用の他、イベントやレクリエーションでの活用、また一時避難場所の確保が可能で、**地域の活性化拠点と安全安心の向上**といった効果をもたらすポテンシャルを有している。公園整備に向けては、**市民主体のワークショップ**で議論して反映する予定である。



子ども達の頑張りを応援! 補助制度の改革

5 中学校の部活動等における全国大会補助について

昨年、一中の吹奏楽部(部員33名)がマーチングバンド全国大会に出場しました。その際の市からの**激励金(補助金)**は制度上3万円でしたが、本番当日のバス代10万円等の各種経費があり、保護者負担は軽くないとのことでした。そこで補助制度の見直しを求めました。

質問 制度上補助3万円だが、移動経費等々の費用がかかっている。遠方であれば宿泊費も必要になる。学校部活動であり、**保護者負担を減らすよう制度を見直す**べきではないか?

市答弁 全国規模の大会に参加するとなれば、移動費等保護者の負担も大きくなる場合がある。他市状況も参考に、**激励金の交付の在り方を研究**する。



4 台風時でのゴミ収集中止基準等について

昨年8月、台風時でのごみの収集有無の相談がありました。現状、**収集の中止基準は無く**、その時の市担当者の判断に拠ること。これでは分かりにくいと市に対応を求めました。

質問 現状、**台風時でのごみ収集の中止基準が無く、問題**と捉えている。台風時の中止基準を設けることについて市はどう考えているのか?

市答弁 ごみの収集は、暴風時には危険を伴うケースもあり、収集の中止判断は慎重に行う必要がある。その際、収集を中止する明確な基準が必要と考えるので、今後、**判断基準を検討**する。



台風対策